

# メディア掲載情報

媒体名	Pen
掲載号	2007年10月号
掲載日	
掲載内容	オブジェ 記事



KATZDEN ARCHITEC

ガラス段板とガラス手すりを組み合わせた、シースルー階段「オブジェ・L型(特注品)」。トップライトをリビングまで導き、自然光に満ちあふれた気持ちのいい空間を演出してくれる。



「オブジェ・L型」は階段自体が壁面に依存することなく自立。1坪の空間にも設置可能だ。



階段を壁に固定した「オブジェ・L型」は、サイディングの薄さにはスチール製ならは、



丸パイプの階段が豊富なオプション、フイは、家庭用ならの間に設置。

013 Inspired Living

## カッデンアーキテック 家族の絆を育てる、リビング階段。

リビングルームにも設置できるオブジェのように美しい階段が、これからの住まい作りや家族のあり方を変えていく。

近頃「住育」なる言葉を耳にする機会が増えた。これは、住まいを通じて家族の心身の健康や絆を育もうとする考え方で、言い換えれば「家族のコミュニケーション」を促す住宅デザイン、あるいは間取りが豊かな人間をつくる、ということでもある。

カッデンアーキテックはこの「住育」の考え方に基づき、家族のコミュニケーションを演出する舞台としての階段の開発を続けてきた。結果、誕生したのが、ここに紹介するシースルー階段「オブジェ」である。

家族が顔を合わせる機会が増えるようにと、リビングルームへの設置を前提に作られた「オブジェ」は、視界や光を遮らない透過性のあるスタイルと、インテリア性の高さが特徴的。なるほど、これならこんなリビングルームにもよく馴染む、と言葉にするのは簡単だが……。強度を保ちながら、ここまで繊細に仕上げるのは至難の業。この美的な階段は、同社の技術力の賜物でもあるのだ。さらに、細分化されたパーツを現場で組み立てていく、ノックダウン式を採用しているのも嬉しいポイント。これなら家がほぼ完成した時点でも、空間やスタイルに合わせて階段の取り付けができる。この進化した階段があれば、「住育」の実践もそう難しくはなさそうだ。

●問い合わせ先 / カッデンアーキテック ☎03-3552-5018 www.katzden.co.jp



本記事の内容は雑誌・媒体掲載時の情報です。  
発表内容・製品仕様など発表当時と現在とで異なる場合があります。  
あらかじめご了承ください。